

第184回一関市教育委員会定例会 会議録

1 開催日時

開会 平成30年9月26日（水）午後1時30分

閉会 平成30年9月26日（水）午後3時25分

2 会議の場所

議会第2委員会室

3 出席者

教育長 小菅正晴

委員 千葉和夫

委員 小野寺眞澄

委員 佐藤一伯

委員 伊藤一志

4 会議に出席した関係者及び職員

教育部長	千葉敏紀
一関図書館長	千葉秀一
教育部次長兼学校教育課長	小山祐二
教育部次長兼文化財課長兼骨寺荘園室長	佐藤武生
教育総務課長	中田善久
いきがいつくり課長	伊東吉光
教育総務課長補佐兼庶務係長	千葉由紀（記録）

5 議題及び議決事項

議案第16号 一関市教育委員会文書取扱規程の一部を改正する訓令の制定について

議案第17号 学校職員の懲戒処分の内申に関し議決を求めることについて

6 報告

- (1) 市立学校におけるいじめについて (資料No.1)
- (2) 第67回一関市議会定例会（一般質問）の状況について (資料No.2)
- (3) 花泉地域統合小学校の整備に係る検討状況について (資料No.3)

- (4) 東山小学校の整備に係る進捗状況について (資料No. 4)
- (5) 室根地域統合小学校の統合に係る検討状況について (資料No. 5)
- (6) 行事報告及び10月行事予定について (資料No. 6)

7 その他

- (1) 平成30年度学校教育行政の重点について（復興教育・危機管理） (資料No. 7)
- (2) 全国学力・学習状況調査について (資料No. 8)
- (3) 「一関市民俗資料館」の供用開始と報道内覧会の実施について (資料No. 9)
- (4) 第8回総合教育会議日程について

8 会議の議事

○教育長 只今から第184回教育委員会定例会を開会いたします。

委員は全員出席です。

今日の議事についてですが、1からその他の4までありますが、時間の目安として3の報告の終了あたりを1時間位でおよそ2時半まで位に、その後その他のところで30分位ということで、3時半までの時間をとってありますが、3時を目途に進めたいと思いますので、その中で積極的に質問、ご意見等を出していただければと思います。

よろしくをお願いします。

それでは、議事日程2に入る前に、会議の非公開について発議いたします。

教育委員会議規則では、原則公開なのですが、人事案件等、教育長または委員の発議によって出席者の3分の2以上の多数で議決したときは、公開しない事ができるということになっております。

今日の議事日程第2、議案第17号は学校職員の懲戒処分の内申についてであります。

3の報告は、市立学校のいじめについての事でありますので、個人情報等がありますので、公開しないことを提案いたします。

これについて、直ちに採決を行います。

賛成、反対、いずれかで意思表示をよろしくをお願いします。

○小野寺委員 賛成です。

○千葉委員 賛成です。

○佐藤委員 賛成です。

○伊藤委員 賛成です。

○教育長 私、教育長も、非公開に賛成です。

全員賛成でありますので、提案の通り、公開しない事と決めます。

それでは議事に入ります。

議案第16号 一関市教育委員会文書取扱規程の一部を改正する訓令の制定について

○**教育長** それでは議事日程第1、議案第16号、一関市教育委員会文書取扱規程の一部を改正する訓令の制定について、提案をお願いします。

○**教育部長** それでは、お手元の資料の3ページをお開きいただきたいと思います。

議案第16号、一関市教育委員会文書取扱規程の一部を改正する訓令の制定についてでございます。

訓令を、次のとおりに制定する。

平成30年9月26日提出。

一関市教育委員会教育長、小菅 正晴。

この起案につきましては、先に、一関市民俗資料館条例について6月議会で上程して可決をいただいておりますが、11月1日に条例が施行になります。

それに伴いまして、教育委員会の文書等を発する場合に、文書の取扱い上、施設の記号が必要になります。

右側でございますが、改正前の部分は表の中で、芦東山記念館、それと石と賢治のミュージアムの間のところに、右の改正後のように民俗資料館を加えまして、記号につきましては、民俗資料館を略した、「民資」にしようとするものでございます。

この訓令につきましても、条例の施行期日と同日の平成30年11月1日から施行しようとするものでございます。

以上が提案する理由でございます。

よろしくご審議お願いいたします。

○**教育長** それでは、訓令の制定についてであります。

改正についてであります。これについてご質問等ありましたらよろしくお願ひします。ありませんか。

ちなみに、民俗資料館のオープンの予定の日について教えていただきたいと思います。

○**教育部長** その他でもご説明する予定でしたが、オープンについては11月1日という予定でございます。

ただ、その日が平日でございますので、開会セレモニーといえますか、オープニングセレモニーのようなものは、11月4日の日曜日を予定してございます。

また、後ほどご説明をさせていただきます。

○**教育長** それでは、ただいま提案の改正について、議決を行います。

これについて、それぞれ賛否をお願いします。

訓令の改正について、異議はありませんでしょうか。

(「なし」の声あり)

○教育長 それでは、異議なしということで、改正については議決したいと思います。

では、次にまいります。

次からは非公開になります。

議案第17号 学校職員の懲戒処分の内申に関し議決を求めることについて

(非公開)

報告(1) 市立学校におけるいじめについて

(非公開)

報告(2) 第67回一関市議会定例会（一般質問）の状況について

(公開)

○教育長 (2)第67回一関市議会定例会、一般質問の状況について。

○教育部長 お手元の資料ナンバー2をお開きいただきたいと思います。

(説明)

○教育長 それでは、全体を見て何か聞きたいところがあれば、よろしくをお願いします。

○千葉委員 エアコンを一つの教室に設置するのに概ねどれくらいの予算が必要なのか。

○教育部長 概算ですけれども、いろいろな電気設備等もありますので、小学校が、約300万円で、中学校が320万円。

○千葉委員 一教室に300万。

○教育部長 そうですね。

○千葉委員 20万円の二つ設置するのでは全然収まらないですか。

○教育部長 総額を割りかえたということはありませんけれど、他県とといいますか、他の例でいいますと、設置台数と総額、経費を割りかえすと、そのような数字になるようでございます。

○千葉委員 はい、分かりました。

○教育長 今のは、電流の最大値の部分も今以上にキュービクル等設置しなくてはいけない部分も出てくる可能性があるし、通常の家にあるようなクーラーでは教室の対応はや

はり難しいし、信頼のおける関係の中での設置になりますから、若干、市場で出回っているものよりは高額になってしまうということでもあります。

私も非常に高いと思いましたがけれども。

全部で、約14億円です。

○**教育部長** 473の部屋に導入した場合には、先ほどの300万ないし320万という額でいきますと、14億5000万円ぐらいという状況となっております。

○**小野寺委員** 今年、暑い暑いと言われて、一関の小学校、中学校で熱中症になった生徒さんの数など、救急車で運んだなどという報告はあるのですか。

○**教育部長** 実際、家に帰った後やクラブ活動などをして家に帰った後も含め、また、家にそもそもいてというもので、確か5件くらいだったと思います。

○**教育長** 重篤な方はいなかったですね。

○**教育部長** はい。

○**教育長** その他いかがでしょうか。

私からですが、これは教育委員会としての考え方があって、お金を出すのはもちろん市長ですので、市長の判断になりますから、額が額でありますので、いわゆる小さな学校だと、一校分もそれがかかってしまうという、そんな大きさを14億という額でありますので、国庫補助が付くとしても相当な額になりますので、市の教育委員会としては、事務局の案ですけれども、設置する方向と、お金というものを度外視すれば、できるだけ早く設置する方向という、そのような考え方でいいということですね。

この中でも確認したいなと思えますが。

○**教育部長** 今、お話しにありましたとおり、良好な教育環境という部分だと、熱中症対策という面では、必要なものと考えておりますので、設置したいというのが第一義的のところですが、教育長からも話がありましたとおり、補助も、実際3分の1の補助でございますし、全国でまだ入っていない部分がありますので、そのような補助の内容ですとか、有利な財源など、そのようなものを踏まえて計画的にということをご想定しておりますし、場合によっては、全国的にリースという方法もあるようですので、一番どういう手法がいいかということをご今後、市長部局、財政担当と調整していきたいと考えてございます。

○**教育長** 全国の状況についてですが、全国では平均的に約50パーセント、今普通教室に入っています。

ここ10年くらいで一気に高まりました。

東北、北東北、つまり岩手、秋田、青森はほとんど、岩手は1.1パーセントしか入っていません。

ほとんど入っていません。

秋田、青森も数パーセント、2～3パーセントです。

北海道も同じように。

北東北はほとんど入っていないという、そのような状況であります。

○佐藤委員 この間お邪魔した山形県の長井市ですね。

こちら人口規模も少ない、3万人の規模ですが、全校に入っていましたよ。

ただ、そのあたりは町の規模がまず違うというところがあるので。

あと、このようなことまで申し上げる立場にないのかもしれないのですけれども、例えばふるさと納税で、郷土地域のふるさとについての学習など、そういったのは確か用途になっていたかと思うのですけれども、教育環境の充実などを、それをふるさと納税の使い道などに加えていただいたりすると財源が、少し確保できるのではないかと思ったのですけれども。

○いきがづくり課長 ふるさと納税については、9月からクレジット決済を始めておりまして、現在9月の集計が終わっておりませんが、クレジット決済は非常に順調に進んでおり、使い道につきましても、実際納税される方のご意見もいただいております、やはり学校設備にもどうか、といったようなご意見もございます。

来年度には返礼品のラインナップも充実したものにしようという取り組みを考えておりますので、それらと合わせて使い道についても、今、クラウドファンディングといいまして、市でこのような事業に使いたいので納税していただだけませんかというやり方も、やっている自治体もございますので、参考にしながら、使い道についても研究、検討していきたいと考えております。

○教育長 その他いかがでしょうか。

よろしいですか。

教育委員会議ですので、教育委員さん方の意見とすれば、やはりクーラーについてはできるだけ早く普通教室にも設置してほしいという考えで、大体一致しているとみてよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○教育長 いろいろな考えがやはりありまして、中にはやはりクーラーは贅沢だと、必要ないという方も、もちろん市民にはおります。

ただ、私も前はそのような考え方を持っておりましたけれども、ただ、昨今というか今年の異常な部分が今後続く可能性があることを考えれば、そのようなことは言っていられない時代になっているなと思いますので、その方向で、今度は予算協議ということになると思いますので、ぜひ事務局として取り組んでいくことになると思います。

その方向で、ぜひ教育委員会としても進めていただきたいと思います。

それではこれについてよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

報告(3) 花泉地域統合小学校の整備に係る検討状況について

報告(4) 東山小学校の整備に係る進捗状況について

報告(5) 室根地域統合小学校の統合に係る検討状況について

○**教育長** それでは今度は報告の(3)に入りますが、(3)、(4)、(5)は一括で、それぞれの地域の統合小学校の整備の状況です。

東山については現在もうすでに統合はしておりますが、整備に係る進捗について報告をお願いします。

○**教育部長** それでは資料ナンバー3から5までの3件についてご説明をさせていただきます。

(説明)

○**教育長** ありがとうございます。

すべて進捗状況になりますが、非常に大事な部分なので、質問は一件ずつ、ご質問のある方はどんどん出していただきたいと思います。

まず、花泉地域の統合小学校の整備につきまして、ご質問のある方はよろしくお願ひします。

○**佐藤委員** 今後のスケジュールについて、5ページの工程スケジュールを拝見しますと、建設工事の設計書は今年度中から入っていくということで、設計関係で進めているものはあるのでしょうか。

○**教育部長** 実際に当初想定していた部分で、本来であれば敷地造成の実設計設計ですとか、そのようなのは着手する予定であったのですが、先ほど申し上げました排水対策等の部分で、いろいろ検討していた関係で、樋管改修の新規の調査設計等も含めて、これからというのが実態でございます。

○**教育長** よろしいですか。

○**佐藤委員** はい。

○**教育長** 私からですが、最後の写真の図面を少し見て、改めて説明をいただきたいのですが、統合小学校建設候補地となっている区画が、区画の端がはっきりしませんが、今まで何回も出ていますので分かると思いますが、これが下原地内ですよね。

ここに降った大雨、雨が降った時に、それを上の方に点点点(破線)で金流川の方に持って行って、この堤防、川のすぐそばにある堤防があります。

これは実際に高いわけですから、堤防ですから。

その中の管を拡大して、倍ぐらいに拡大して、そこから流すということなのですが、雨、大雨が降った場合に逆流の可能性があるのではないかということと、それからそうなった場合に、田んぼと堤防の右の端の方、このところに溜まってしまうという、そのような危惧はよく話として出されるのですが、この辺りについてはどうですか。

○教育部長 まず一つとしては、逆流の部分ですけれども、現在も実際に出て行った時にゲートがついていまして、通常は流れて行く時は開いていて、金流川の水位が上がった場合はゲートが閉まるというものを、改修後も同じようなゲートを設置する予定です。

逆流はないのですが、逆に内水については出ませんので、実際に学校施設の部分だけの水ではなくて、支所とか中学校の方など、注水エリアから流れている水については現在もゲリラ豪雨などの時は、若干田んぼのところが冠水しているということはあるようなのですが、ただ、一時的な部分だということですので、それらについては建設候補地に影響があるような状況にはならないということで、進める予定でございます。

そのような想定で進めます。

○教育長 工法については、このように対策をすることについて、土地改良区の幹部からは了解を得ているという、そのような状況ということでもいいですかね。

○教育部長 このような内容で、当初もここの排水樋管から排水するということでしたが、いろいろ雨量の設計、10年に1回ぐらいの雨量にも対応できるような排水の設計をした場合には、今、口径が60なのですけれども、それを125と大きくすることによって、すごい災害が来た時には当然一部冠水する可能性はありますが、それも田んぼ部分で収まるという、通常の部分には実際に排水路と改良区の幹線排水路と書いている部分がありますが、そちらからも通常は流れていくことになりますので、ある程度口径があれば対応できるという設計にはなるはずです。

○教育長 その他いかがでしょうか。

○千葉委員 大雨が降ると弁が閉まると、逆流はそのために無いけれど、内水が溜まって冠水する。

冠水する場所はほとんどこの田んぼに限られるということですか。

○教育部長 この表で言う、こちら側の田んぼの部分と堤防沿いに、こちらに水路がありますのでその部分で最終的に南側の方に向かって流れていくということになりますので、50年に1回など、そのようなものがもし来た場合はここ以外すべての部分が冠水ということになると思いますので、通常10年単位のものであればこの土地を埋めて、校舎を建築する分には、そのような都市計画上の法律に基づいた開発許可なども必要になりますので、それをクリアできるぐらいの容量は確保できるという考え方です。

○教育長 よろしいですか。

○千葉委員 はい。

○教育長 花泉についてはよろしいでしょうか。

では次に、東山小学校、特に長寿命化についてであります、報告でありましたが、これについてご質問ありませんか。

そうすると、私からですが、確認ですが、4ページ最後のところで31年度、来年度、今平成30年度ですが、平成31年度の1月から、つまり平成32年の1月に新しい校舎に入るとい、このような図でいいわけですね。

○教育部長 単純に、1月に新校舎に引っ越しする計画で進める予定で、卒業式には何とか間に合わせたいという工事のスケジュールになっております。

○教育長 もう一つ、2ページの長寿命化改修ですが、これはコスト的にたぶん東山の小学校全部で例えば20億円ぐらいかかると思うのですが、アバウトでいいので、だいたいのイメージとして、圧縮されるのは何割ぐらいなのか。

額でもいいです。

細かいことですが。

○教育部長 4億ぐらいだったと思いますので5分の1ですか。

5分の4で済むという、外分5分の4ぐらいでなんとか事業費的には収まるかなというところです。

5分の1縮減できるということです。

○教育長 これは今後、前にも教育委員会議、ここでも話したと思うのですが、今後、同じ場所に、学校を壊して作る時には、その柱などがあまり古くなってなくて、ある程度まだ大丈夫、使えるという場合には基本的に長寿命化の方向という確認ということをしてほしいと思うのですが、それができるかどうかはまず確かめてみると、できた場合はその方向を基本とするということの確認で、教育委員会議で言ったのですが、事務局にも確認したいと思います。

○教育部長 今、お話がありましたとおり、建築後40年程度でというのが前の基準法という考え方だったのですけれども、今はそれについてはかなりいろいろ改修というか、あらかじめいろいろなことで対応していけば、ある程度長く伸ばせるということがありますし、コンクリート、鉄筋の部分は酸性化していてボロボロになっているなど、そのようなことがある場合は別ですけれども、基本的には、まずは長寿命化改修が可能かどうかというのを第一判断にしまして、これが難しい場合には新築ということで、まずは長寿命化改修が可能かどうかについて検討するというのが、これからの改修等に対しての考え方ということで進める予定にしています。

○教育長 東山についてなにかありますでしょうか。

○千葉委員 長寿命化、結局30年たった校舎で柱が、大変頑丈であると、これは新築よりは長寿命化とした時に、そこから長寿命化にしてさらに40年となると、合計70年くらい経つわけですが、それにも十分に耐えられるということなのかどうかというのが1点。

2点目は、長寿命化と新築の場合の国の補助というのは、どれくらい違いがあるのかどうか。

○教育部長 まず1点目ですが、実際に改修工事をする場合にはほぼ新築と同じような手が加わりますので、新築と同じような機能が発揮できるような改修をするという前提になりますので、100年とは言いませんけれども、そのような考え方で延長、長寿命化するというのがございますし、あと、補助については、補助のメニュー自体が変わる部分もありますが、基本的には、100分の55ですね。

10分の5.5という割合については特に変わらないという。

○千葉委員 はい、了解しました。

○教育長 今のことにちょっと加えますが、補助は変わらないのですが、補助対象として認められることが、優先的になるということです。

だから認められないといつまでもできないと。

例えば一関小は今後、いつの時点かで改修の時期が必ず来ると。

一関小をやる場合には、長寿命化をできるかどうかを確かめる。

今の段階で、前調べたときに一関小はだめだと、長寿命化には少しボロボロの状態だということですので、あそこは立て直さなくてはいけないのですが、仮にそうなった場合に、仮にOKだとした場合に、長寿命化でやるとなると、すぐに文科省からOKがでると。

ところが普通の長寿命化でないと、今年もだめです。

来年もだめです。

と、これどんどん、どんどん伸びる可能性があるという、そのようなことになりますね。

○教育部長 教育長からお話がありましたとおり、先ほど、私、メニューが違うと言ったのが今のところでございますが、公立学校施設整備負担金の事業でやった通常の統合の場合の新築というのと、学校施設環境改善交付金ということで、これは長寿命化改良事業というメニューがあつて、いずれも補助率は同じようなものというものになります。

○教育長 東山についてはよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○教育長 それでは次、室根につきましてお願いします。

私から教育部長にお願いですが、今週すでに話し合いが室根でされる予定なのですが、教育委員さん方にも今後の見通しの部分で、花泉との関係を少し変化する可能性が

あるという部分のお話をしていただきたいのですが。

○教育部長 統合小学校の建設計画については、教育委員会として平成26年の10月に市立小学校の学校統合に係る校舎整備計画という11年間の平成27年から平成37年までの期間の整備計画を確定しております。

その中では前期に千厩と東山ということで、これが平成32年度頃までということで、後期に花泉、室根両地域の小学校を整備するというので、これについて順番がどうこうというところまで定めたものではございません。

先ほどお話した花泉地域統合小学校については平成32年と平成33年に建設工事をしまして、平成34年の開校と。

室根地域については平成34年と平成35年に工事をして平成36年の開校というのが、これまで考えてきた計画でございましたけれども、花泉地域が平成35年の開校の予定になりますので、平成33年と平成34年という1年押しますと、室根をさらに1年延ばしますと平成37年ということになるのですけれども、そうしますと平成32年の工事が空きますので、正式決定したものではありませんけれども、場合によっては流動的でございますが、室根を例えば平成32年、平成33年に工事しまして、平成34年の開校ということで、今までは2年、2年ということでやっていましたが、花泉と室根について、平成32年は室根だけで、平成33年は両方工事するというので、室根地域については花泉地域の前に新築ということも検討というか、説明をした中で先ほど申し上げました新築がいいか、既存校舎を活用するかというところに合わせて検討するというので提案をしていきたいと考えております。

○教育部長 そうすると、室根が先になるという可能性もあると。

住民がそのような選択をした場合にはですね。

そのような形になるということでわかっておいて、ただ、室根の場合は、早くすると、市の土地がないので、今の室根中学校の横は市の土地でありますし、すぐに対応できる、室根中学校の校地はすごく広いのですね。

ですから、その室根中学校の横に、中学校をそのままにして横に小学校を建てるということに、もし早くやるのであれば、そのような話になっていくのではないかな、その可能性は十分にあるかなと。

それは今週の末に話し合いを、まず第一弾として統合整備検討委員会の中で行う予定であるということをお分かっております。

よって、教育委員会で平成26年度に立てた向こう10年間の計画はそれで完了しますので、次の段階をどうするかというのを、今後教育委員会議の中で、例えば一関小学校をどうするかなどですね。

中里小学校もさらに古いし、一関中学校、萩荘中学校、結構古い学校がたくさんあるのです。

これをどういう順番で、どのようように整備していくかということは今後は議題によって教育委員会の中で話し合っていくということになるのではないかと思います。

室根については、何かもしありましたら。

○佐藤委員 複式学級の、複式の規模、状況というのでしょうか、例えば、各学年の中で何クラスぐらいが複式になるかなど、例えば花泉の例ですと日形小学校が統合する前、全校で23名などですね。

学年によっては0人など、本当に深刻な記録だったのですけれども、そういった室根の複式の発生状況の規模というのですか、どれくらいになるのでしょうか。

○教育部長 基準としましては、1年生と2年生の児童が8人以下という場合は複式となりますが、1年生を含まない場合は、2学年の児童の合計が16人という基準があります。

室根東小学校の場合はたまたま一つの学年が5人というところがありまして、どうしても5人プラスということになりますので、1年生の時は良かったのですが、1年生を含まない場合、16人というのが、上の学年が9人しかいない状況で、14人しかないということで、複式という状況になっているのが実情ということになります。

○佐藤委員 それは1学級。

○教育部長 そうです。1学年の関係で、それが毎年続いていくという感じ。

○佐藤委員 その後はまた、ある程度の児童が入ってくるのですか。

○教育部長 平成34年度の想定ですと、10人以上のところにはなりません。

小学校1年生も10人ですし、最低でも、先ほどお話ししたところが6人などとありますが、あとは9人という感じにはなっております。

○教育長 ちなみに、今後室根は、あと数年すると30人を超える学年がなくなります。

室根西と東を混ぜてもですね。

ですから、30人以下、20人台の学年が続くと思います。

そのような部分で、西にも東にも入れるのではないかと、複式を解消しても入れるのではないかという、そのような議論が急に出てきたものですから、それに向けた議論も今しています。

では、室根についてはよろしいでしょうか。

では、3つの地域の小学校の整備状況についてであります。

今後進捗について報告よろしくお願ひします。

○教育長 では、(6)の行事報告及び10月行事予定について入ります。

行事報告については私から行いますが、1ページ、まずご覧ください。

先月は8月21日に教育委員会議でありました。

その週のそれ以降のところ、24日です。

一関地方の中学校の総合体育大会、駅伝の大会がありました。

この日だけは、たまたま涼しかったので、ですが、この日も実は救急車で運ばれた子どもがいました。

駅伝大会は予定とおりに実施できました。

男子は興田中学校が優勝。

女子は桜町中学校が優勝で、それぞれ頑張った大会でありました。

比較的涼しいところで行うことができました。

同じ日、一関地区の教科用図書採択協議会のまとめの議がありしました。

中学校の道徳、前にも報告しましたように、東京書籍の道徳の教科書を採択しましたので、これの報告がありました。

9月1日以降は、これについてはオープンになっておりますので、教育委員会議の報告についても、そのまま議事録に載る予定であります。

23週、次の週ですが29日、社会体験学習に係る受入れ事業所に私も2か所ほど、県南技研と、それからスキルギャランティという、赤荻にある縫製関係の会社に、私も行ってきて、子ども達も一生懸命体験学習をしていたところであります。

同じ日、第2回の管内教育長会議が教育事務所でありました。

人事関係の今後の見通しについての報告があったところであります。

31日から市議会の本会議が始まりました。

一般質問でありました。

次、第24週、9月4日ですが、わたしの主張一関地区大会がありました。

これは一関の要するに西地区ですが、東地区でもまた別にやっております。

西では、磐井中でやった時には附属中学校の3年生の女生徒が最優になりました。

東では、興田中学校の生徒が最優秀になったところであります。

ちなみに、二人は県の大会にすでに出まして、附属中学校の3年生の子どもが、県でも第1位ということで、その上の大会に臨むことになっております。

9月6日、花泉地域の統合小学校の学校づくり推進委員会ということで、先ほど教育部長から報告があったような中身のことが報告されまして、地区の説明会が昨日からスタートしているところであります。

次のページ、2ページをお願いします。

11日、幼、小、中、高、特、高専、大、学校運営推進協議会運営委員会がありました。今年度の運営委員会は最後でありましたが、12月の講演会に向けての予定、計画について報告があったところでもあります。

前にも報告いたしましたが、12月に秋田の大森山動物園の小松守園長さんに来ていただいて、講演をする予定であります。

12日は市議会の特別委員会で決算について、教育委員会関係の決算について、この分科会で話し合われたところでもあります。

13日、東山小学校の新校舎整備検討委員会がありまして、先ほどの進捗状況の報告と、校舎配備の最終確認があったところでもあります。

翌週、第26週であります。18日が、教育民生常任委員会を特別開いていただきまして、ここで三つの、先ほどの統合小学校の校舎整備についての進捗状況を議員さん方に説明いたしました。

19日、花泉学校給食センター訪問と書いていますが、実は、前にも報告しておりましたが、この週の22日に文部科学大臣賞の受賞の祝賀会を行っておりまして、学校教育課長に出席していただきました。

22日、同じく第37回の一関国際ハーフマラソン開会式がありまして、開会式、レセプションがありまして、23日が本番でありましたが、今回は3,000人を超える参加でありまして、天候にも恵まれて、非常ににぎやかな大会になったところでもあります。

行事報告については以上であります。

行事報告について何かご質問はありますか。

それでは行事予定に入ります。

○教育総務課長 それでは10月の教育長の日程をご説明いたします。

(説明)

○教育長 それでは最初に教育委員会議の10月の予定ですが、25日木曜日の午後2時半からということの提案ですが、委員さん方いかがでしょうか。

(「大丈夫です」の声あり)

○教育長 それではここに提案のとおり10月25日の午後2時半からということでよろしくお願いたします。

それから10月に入ると毎週のように学校公開等がありまして、10月から11月の前半まで、けっこう続きますが、難しいところもあるかと思いますが、可能なところはできるだけ出ただけであればなど、見ていただければなどと思います。

ここについては、今の段階では出席確認はいらぬですね。

あとで補佐から確認をいただきます。

行事予定について、何かご質問ございますか。

○伊藤委員 25日、第31週の25日、厳美幼稚園の公開保育研究会というのは、幼稚園の公開ですか。

それとも総合訪問なのでしょうか。

○学校教育課長 厳美幼稚園は総合訪問。

真滝は学校公開。

○教育長 その日もし午前中に都合がつけば、ぜひ見て、その後、渋民へ向かいたいと思っております。

渋民、見ることはできますか。

(「はい」の声あり)

○教育長 それでは行事予定については以上としたいと思います。

以上で報告を終わります。

今日は3時半ころの予定でやはり若干予定どおりの時間になりそうなのですが、その他が(1)からありますが、30分あると十分終わると思うのですが、続けてよろしいですか。

(「はい」の声あり)

○教育長 では続けさせてもらいます。

では3番のその他。

その他(1) 平成30年度学校教育行政の重点について（復興教育・危機管理）

○教育長 (1)平成30年度学校教育行政の重点につきまして、これは学校教育課長から説明をすでにいただいております。

よろしく申し上げます。

○学校教育課長 重点項目6ということで、復興教育と危機管理です。

(説明)

○教育長 はい、ありがとうございます。

現在実施している復興教育、それから危機管理についての説明でありました。

何か、もし聞きたいことがあればよろしく申し上げます。

では私から、一つは、命を守るための救急ノウハウの人材育成のところ、応急手当普及員、これは教員対象ですか。

○学校教育課長 はいそうです、教員です。

○教育長 その下の次の心肺蘇生法の学習支援は、これは子ども達がやるということですね。

○学校教育課長 中学生と。

- 教育長 中学生は全員、いわゆる心肺蘇生法は学習しているということですよ。
- 学校教育課長 はい、大丈夫です。
- 教育長 あと下のそのERVは実際やってみたほうがいいかと思imasので、いつか装置を持ってきて見せてください。
- 学校教育課長 いつか持ってきます。
- 教育長 いつか、来年でもいいですけど、現物を見たほうがいいですよ。
- 学校教育課長 すみません、今日はもってきませんでした。
- 教育長 今、中学校1年生に全員に配っています。
- 音声誘導、音声が出て、音が出るとおりに行動すればいいということですよ。
- 学校教育課長 倒れた人がいた時、それを持ってやると、まず肩を叩いてくださいなど、動きがありませんなど、次はこうしてください。全部誘導してくれます。
- 教育長 音声でね。
- 学校教育課長 音声です。
- 紙見てじゃなくて音声でやってくれるということですね。
- 教育長 あと左側のほうに、落ちてこない、倒れてこない、移動してこないという意味は、そのようなところに隠れろという意味ですね。
- 左側の箱の一番下。
- 学校教育課長 そのとおりです。
- 教育長 そのようなことですね。
- 他に何かありますか。
- よろしいですか。
- では復興教育、危機管理についての重点事項については以上にしたいと思います。

その他(2) 全国学力・学習状況調査について

- 教育長 次、(2)全国学力、学習状況調査の結果について。
- 学校教育課長 資料8をご覧ください。
- 全国学力、学習状況調査の結果であります。
- (説明)
- 教育長 ありがとうございます。
- 結果が来ましたので、このような形でした。
- 質問についてはもっと大量にあるのですよね。
- 学校教育課長 あります。
- 教育長 何かご質問など、あるいはご意見等ありましたらお願いします。

残念ながらというか、小学校はいわゆる点数、学力の状況は、小学校は全国よりも岩手よりも高い状況だということではありますが、中学校にいくと、逆に全国からかなり追い上げられて、残念ながら今回は県よりも低いものがいくつかあったということでもあります。

そこは課題として前から捉えたところでありまして、努力はしてきた部分ではありますが、なかなかすぐに改善に結びついていないという実態だったのかなと思います。

学年ごとの上下はもちろんありますので、これ一つをもってして、全てだという捉え方はしておりませんが、いずれ課題は非常に大きいなということを感じたところではあります。

何か、もし、感想でもいいですからありましたら。

○佐藤委員 中学校の低かった理由が、下位層の方が多いということですが、下位層が多くなるのは何故かというのは何故か分析されていることはありますか。

○学校教育課長 教育研究所の分析、去年もだったのですが、分析は授業の課題とまとめを十分にしない場合、課題とまとめと学力の関係は相関関係にあるという文科省の報告があって、一関はやはり、課題とまとめの実施率が低いのです。

だから、教育研究所の先生方もやはり中学校においては、今の対策としては当たり前なのですけれども、学習課題、これも子ども達から出るように。

まとめも、子ども達がするように、板書もきちんと書くということを徹底していくということで、今年4月からは構造的板書、課題とまとめをしっかりとやると。

テンポよくということで、きちんとまとめまでやると。

当たりのことで、それをまずやっているところがございます。

○教育長 なかなか専門的な部分も、もちろんありますが、大まかにいくとやはりそのようなところだったのではと思いました。

小学校はかなり、ここ何年かにわたってこのような状況が定着してきた部分でありますので、それなりに効果はかなり上がっているという感じはします。

中学校はなかなか、教科それぞれという部分もありますし、全国とくらべると、中学校になると、全国が上がるのか、一関が下がるのか、一関の状況は実はほとんど岩手と同じなのですが、その課題は非常に大きい。

なかなか克服できないものだという感じは受けています。

ではよろしいですか。

(「はい」の声あり)

○教育長 これについては報告ということでおさえたいと思います。

その他(3) 「一関市民俗資料館」の供用開始と報道内覧会の実施について

○教育長 その他の(3)一関市民俗資料館の供用開始と報道内覧会の実施について。

○教育部長 お手元の資料ナンバー9をご覧いただきたいと思います。

(説明)

○教育長 この予定でということであります。

何か特に質問ありますか。

25日にオープンの前に、中で会議をできると、会議予定だったと思いますね。

○教育部長 会議をして、内覧いただくということですね。

○教育長 これについてよろしいですか。

その他(4) 第8回総合教育会議日程について

○教育長 (4)の総合教育会議につきまして。

○教育総務課長 特に資料等はございません。

こちらの次第に記載のとおりでございまして、次回の総合教育会議の日程でございしますが、11月21日午後1時半からということで予定してございます。

(説明)

○教育長 ありがとうございます。

ここについてはぜひ予定に入れておいていただきたいと思います。

よろしく願います。

その他、事務局から連絡等。

その他

○いきがづくり課長 その他の項目にも記載をしておりませんでした。情報提供ということで、お話をさせていただきます。

11月23日、24日に、英語の森キャンプの小学生のバージョンを開催する予定で、現在事務を進めております。

小学生の英語の森キャンプは今年度から初めて行うものでありまして、平泉町の小学生も対象として募集をする予定であります。

明日、校長会議があるのでそちらについてもPRさせていただきたいということで。

初めて行いますのでいろいろなプログラムを準備中ですが、情報提供であります。

よろしく願います。

○教育長 ありがとうございます。

人数もう一回、何人でしたか。

○いきがづくり課長 70人ぐらい。

○教育長 70人ぐらい。

これは学校割り当てもあるのですか。

○いきがづくり課長 一応、参加希望数ということで、児童数に割り算をして募集をしたいなと思っておりました。

○教育長 分かりました。

それではその他について、何かご質問、ご意見等ありましたら。

よろしいでしょうか。

はい、ではありがとうございます。

以上で第184回一関市教育委員会定例会を終わります。

ありがとうございました。